

JFA第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道道北ブロック大会

開 催 要 項

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、公益財団法人北海道サッカー協会として本大会を実施し、JFA第45回全日本U-12選手権大会北海道大会(令和3年10月9日(土)～10日(日))に道北ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 JFA第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道道北ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会
4. 主 管 道北地区サッカー協会
5. 特 別 協 賛 YKK(調整中)
6. 協 賛 花王 日清オイリオグループ ゼビオ 日本マクドナルド カバヤ食品(調整中)
7. 開 催 協 力 モルテン(調整中)
8. 期 日 令和3年9月23日(木・祝)
9. 会 場 士別市つくもサッカー場
10. 参 加 資 格
 - (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。道北ブロック各地区(旭川、道北、宗谷)の予選を経て、所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
 - (2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
 - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
 - (4) 地区予選から全国大会に至るまで、同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
 - (5) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかチームから選手を参加させることも可能とする。「加盟チーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。
 - (6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。
当該チームの地区大会への登録選手が20名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
 - (7) 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。ただし、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属するU-12リーグが開催されない場合、本項を適用外とする。
 - (8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員は2名以上3名以下とし、うち1名以上は(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
※第46回大会以降、ベンチ入りする指導者(監督・コーチ等)全員が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有することが義務付けられるので、注意すること。
 - (9) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
 - (10) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
11. 参加チーム及びその数 (1) 参加チームは旭川8・道北2・宗谷2の12チームとする。
12. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」による。ただし、詳細に関しては、本大会用として競技方法に定める。
13. 競技方法
 - (1) 12チームを4チーム3ブロックに分け、それぞれトーナメント方式にて行う。各ブロックの優勝チームが、道北ブロック代表チームとして、北海道大会に出場する。
 - (2) 競技のフィールド
 - 競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mを原則とする。
 - ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
 - その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
 - (3) 試合球
モルテン社製『ヴァンタジオ5000キッズ(F4A5000-R4号球)』とする

- (4) 競技者の数及び交代
 ○競技者の数は、1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する)
 ○登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 ○交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 ○ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
 ○交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (5) テクニカルエリアは設置しない。
- (6) ベンチ入りの人数
 ○交代要員8名、ベンチ入りするチームの役員数は2名以上3名以下とする。
 ※これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会より懲罰を科す。
 ○その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (7) 試合時間
 ○試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は原則10分とする。
 ○規定の試合時間内で勝敗が決しない場合は、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、代表決定戦では前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。
 ○延長戦に入る前のインターバルは、原則5分間、PK方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。
- (8) 暑熱下において、前・後半中に飲水タイムを採用する。(採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員に伝える)
- (9) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数: 2名以内

14. ユニフォーム

- (1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、(2)以下については、一部本大会(道北ブロック大会)の緩和規定として採用する。
- (2) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携帯し、いずれかを着用しなければならない。(FP・GK用共)ユニフォームは、(公財)北海道サッカー協会に登録されたものを原則とする。※なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
- (3) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
- (4) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (6) アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (7) Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号14に準じる。
- (8) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- (9) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (10) ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
 ※公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規定第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

15. 審判員

主審、副審(2名)、予備審判の4名で運営する。
 ※グリーンカードを積極的に採用するように心がける。

16. マッチウエルフェアオフィサー

代表決定戦に配置する。

17. 懲 罰 (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会の地区予選で受けた警告については、累積として本大会には、持ち越さないものとする。
- (3) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (4) 大会規律委員会の委員長は、道北ブロック委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (5) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (6) ○本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会において決定する。
○競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (7) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。
18. 大 会 参 加 申 込 (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
- 所定の用紙(大会参加申込書・プライバシーポリシー同意書・親権者同意書)をEメール、FAX、郵送等の方法で道北地区サッカー協会に提出する。
※道北地区サッカー協会は取りまとめの上、公益財団法人 北海道サッカー協会へ提出すること。
- (2) 選手変更・追加登録は、Eメールにて道北地区サッカーに届け出のこと。
令和3年9月21日(火)17:00必着。
- (3) 参加申込締切 令和3年9月17日(金) 17:00
- 【申込先】
道北地区サッカー協会 4種事務局 高橋 光男 気付
E-mail dhohoku1@guitar.ocn.ne.jp
問い合わせ 携帯 090-8429-2715 FAX 01654-3-9617
19. 参 加 料 1チーム5,000円(当日持参のこと)
20. 選 手 証 各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証(カードの選手証または電子選手証)を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※電子選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す
21. 組 合 せ 12チームをAブロック(旭川1位、旭川6位、旭川8位、宗谷2位)、Bブロック(旭川2位、旭川5位、旭川7位、道北2位)、Cブロック(旭川3位、旭川4位、道北1位、宗谷1位)の3つのブロックに分けて行う。Aブロック回戦は旭川1位対旭川8位、旭川6位対宗谷2位。Bブロック回戦は旭川2位対旭川7位、旭川5位対道北2位。Cブロック回戦は旭川3位対道北1位、旭川4位対宗谷1位とする。
22. 帯同審判員 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(3級以上)1名を必ず帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
23. 監 督 会 議 行わない
24. 開 会 式 行わない
25. 閉 会 式 行わない
26. そ の 他 (1) 各ブロック優勝チーム(計3チーム)は全道大会への出場を義務付ける。
- (2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- (3) 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。
- (4) 本大会は大会期間を通じて「感染対策担当者」を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
- (5) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。

以上